

# スポーツから学ぶ人間の強み

## ～6月の全校朝会リレートーク～



濁川中だより

令和5年  
6月30日

第3号

濁川中学校  
ホームページ



<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>  
学校だよりカラー版や日々の学校生活を載せています。ぜひご覧ください。

### 6月5日(月)の全校朝会、校長先生のお話は、「スポーツから学ぶこと」です。

私はスポーツが大好きです。テニスをはじめ、色々なスポーツに挑戦してきました。見るのが好きなスポーツ上位3つのうち、唯一やったことがないスポーツがあります。それは、「ラグビー」です。中西先生は、高校時代ラグビーの経験があります。今日は、中西先生からお話いただきます。

### 中西先生へバトンタッチです。

私は、富山県のある高校へ進学しました。その学校にはラグビー部がありました。全国大会へ出場する強豪校でした。なぜ、ラグビー部に入ったかという、「One for All All for One」の精神に憧れたから、ということではなく、「有名になって目立ちたい」という気持ちでした。練習はとて厳しくて、学校に行くのが嫌になるほどでした。私は「スクラムハーフ」というポジションでした。常に自分の役割を果たすことが求められます。監督から「おまえがいなくても代わりはいる」と言われてしまいました。そこで、自主練習を始めました。その甲斐あって、高校2年生の時、全国大会へ出場し、ベンチ入りをする事ができました。



ラグビーは、試合が始まったら、監督がタイムを取ることができません。チーム力が求められるスポーツです。リーダーとそれを支えるフォロワーの役割が重要になってきます。リーダーに求められることは、チームの目標をしっかりと示すことができる、選手

個々に合わせた活動を与えることができる、選手としての理想の姿を行動で示すことができる、です。フォロワーは、自分の役割を果たすことができる、リーダーの不足を補うことができるという力が求められます。リーダーとフォロワー、どちらが影響力があると思いますか。実は、リーダーの影響力は10～20%と言われています。フォロワーの影響力は80～90%、リーダーを支える力が重要だということです。

1つのボールをみんなでつないでトライする。いい生徒会づくりも皆さんの力を合わせる必要があります。



5月の全校朝会で、機械やAIにはない、人間の強みについて話をしました。1つのボールをトライすること。ゴールにたどり着くには、メンバーそれぞれが自分の役割を果たし、チームのために協力すること。みんなの思いが合わさって初めて、トライが成功するのです。

チームで話し合い、チームのために自分の力を出し切る。こうした行動は、AIにはできません。人間らしい行動、人間の強みである、といえます。

ボールをつないでトライをする瞬間、いつ見ても胸が熱くなります。すべての選手が、精一杯闘っているから、その姿に観客は感動するのだと思います。

いよいよ新潟市中学校体育大会です。仲間と共に、最後まで闘ってきてください。



# 濁中生よ再び問う これていいのですか

昨年度、生徒玄関にある靴へのいたずらがありました。その都度、生徒への指導を行ってきました。また、土日の部活動では生徒玄関を使わず、社会体育用玄関を使うなどの対策を取ってきました。その後、いたずらはなくなっていました。今年に入り、4月に靴のいたずらがありました。そこで、生徒会執行部と生徒指導主事の斎藤先生とで話し合いを行いました。

5月29日（月）、生徒会から全校の皆さんへ次のような話がありました。

生徒玄関の靴のいたずらに対し、防犯カメラを取り付けるべきか、生徒会が全校生徒にアンケートを行いました。生徒からは、カメラ設置に前向きな意見もありましたが、臨時生徒朝会後は靴のいたずらが1件も起きていないことや、カメラ設置は根本的な解決にならないという意見もあり、生徒会執行部は「防犯カメラを設置したくない」という結論に達しました。もしも、いたずらが再発した場合は、再度生徒集会を開きます。

しかし、6月に入り、再び靴のいたずらが起きてしまいました。

6月16日（金）、再び生徒朝会が開かれ、生徒会3役が力強く呼びかけました。

5月29日の臨時生徒朝会で、カメラは設置せず、自分たちの力で解決したいと皆さんに宣言したのに、こんなことになってしまい、本当に残念で仕方ありません。私たちの言葉や全校生徒の思いがまったく伝わらなかったことに、もどかしさや深い悲しみ、そして怒りを感じています。

このことについて、生徒会で話し合いました。やはりカメラを設置しなければダメなんだ、玄関の靴箱に鍵をかけてもらおう、という意見が大半でした。こういうことをしなければ、解決しないと思ったからです。

でも話し合っていく中で、こんな意見もありました。

カメラをつけても、また違う形で同じようなことが起こるのではないか、それは、やっている人の気持ちは結局何も変わらないからです。これでは、私たちの学校生活は不安なままだと思うのです。

昨日、私たちはこの件について校長先生とお話しさせていただきました。校長先生からは、「もう1回アクションを起こしてもらえないか、全校生徒の絆が深まるような取組を、生徒会で考えてもらえないか」ということでした。つまり、私たち生徒自身の手でしなければならぬことは、カメラ設置という取り締まりではなく、鍵をつけるという防御でもなく、全校生徒が笑顔になって、安心して過ごせる学校を作ることなんだ、と思いました。

全校生徒が楽しく学校生活を送れるよう、私たち生徒会本部は考えて実行していきたいと思っています。そして、私たちだけでなく、皆さんの力も貸してください。よいアイデアを出してもらったり、各専門委員会でできそうなことに取り組んでももらったりしながら、みんなで安心できる濁川中学校を作りたいと思っています。

その後、生徒指導主事の斎藤先生からのお話がありました。

全校生徒が安心して学校生活を送ることができるように、生徒会の取組と同時に、職員の見守り体制を強化していきます。土日の部活動は、体育館のみ立入り可とします。生徒だけで生徒玄関に行くことはできません。平日は、朝7時45分の開錠と同時に職員が朝のあいさつをしながら生徒玄関に立ちます。下校時は、帰りの会の後、職員と一緒に生徒玄関へ行き、施錠します。心配な生徒の靴は預かることにしました。

その後、靴のいたずらは発生していません。

安心、安全な学校生活のために、教職員はこれからもしっかりと見つめていきます。

